町内ではさまざまなスポーツが盛んに行われています。
第４号となる今回は、グラウンド・ゴルフを紹介します。

川床グラウンド・ゴルフクラブの練習の様子

特集

ながしま×スポーツ

～第４号　グラウンド・ゴルフ～

「いつでも」「どこでも」「誰でも」できる

グラウンド・ゴルフは昭和57年に鳥取県泊村（現在の湯梨浜町）で誕生しました。当時、泊村では高齢化が進み、健康づくりが課題となっていました。国からの補助事業を受けながら、高齢者にふさわしいスポーツの開発に着手し、教育委員会をはじめ、老人クラブやスポーツ推進委員など多くのかたの協力により、生まれました。

ゴルフ場に行かなくても、地域に密着している学校のグラウンドでもできるスポーツをイメージし、「いつでも」「どこでも」「誰でも」できるスポーツを目指して名付けられました。

町内にはグラウンド・ゴルフを楽しむチームが29団体あり、中でも川床グラウンド・ゴルフクラブは、会員28人で週3日練習をしています。さまざまな大会にも参加し、九州大会や全国大会に出場するほど、実力ある団体です。

練習は3～4人でグループを組み、グラウンドに用意されたコースを順番にプレー。

会員らはコミュニケーションを取りながら、楽しそうな様子でした。

同クラブの福嵜勝行さんは「高齢者でも手軽にできるスポーツ。みんなで集まって話をしながらプレーするのがとても楽しい」とグラウンド・ゴルフの魅力を話しました。

グラウンド・ゴルフは準備もルールも簡単です。だからこそ子どもから高齢者まで楽しくプレーすることができます。それが健康づくりやコミュニケーションにつながっています。今日も元気で楽しそうな笑い声がグラウンドから聞こえます。

チーム紹介

川床グラウンド・ゴルフクラブ

［会員］28人

［練習］毎週火・木・土曜日　午後１時頃～

※他団体と合同で練習することもあります。